

瀬戸内海の環境保全・創造に係わる研究助成(H.16-20)成果報告会 —瀬戸内海の生態系環境管理に向けて—

趣 旨

瀬戸内海研究会議は瀬戸内海環境保全知事・市長会議から資金提供を受けて、瀬戸内海研究会議に所属する若手研究者が行う「瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究」に対して平成16年から毎年5～6件の研究助成を行ってきた。

瀬戸内海ではリン・窒素総量規制をはじめとする様々な施策や沿岸住民の努力により汚染の進行は止ったが、かつての豊かな瀬戸内海が蘇ったという住民実感はない。

このような状態の原因のひとつとして、今までの環境施策は水質対策に主眼が置かれ、瀬戸内海の生態系や風景に深い関心が払われてこなかったことがあげられる。

このワークショップでは瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究助成を受けた研究の中から、瀬戸内海の生態系に関係するいくつかの研究成果をまとめて紹介して頂き、総合討論を通じて、瀬戸内海的环境を保全し、望ましい環境を創造するためにはどのような研究が今後望まれるのかを明らかにしたい。

日 時

平成21年11月13日(金) 11:00～15:10

場 所

兵庫県民会館 福の間 (10階)

神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL 078-321-2131

主催等

主 催 瀬戸内海研究会議

共 催 瀬戸内海環境保全知事・市長会議

後 援 兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会、(社)瀬戸内海環境保全協会

参加等

定 員：90名(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

参加申込方法

11月6日(金)までに、裏面の参加申込書にご記入の上、FAX、郵送、Eメールにて、事務局までお申込下さい。

(参加証等は発行しませんので、お申込のうえ当日会場へお越し下さい。)

お申込・お問い合わせ先

瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073

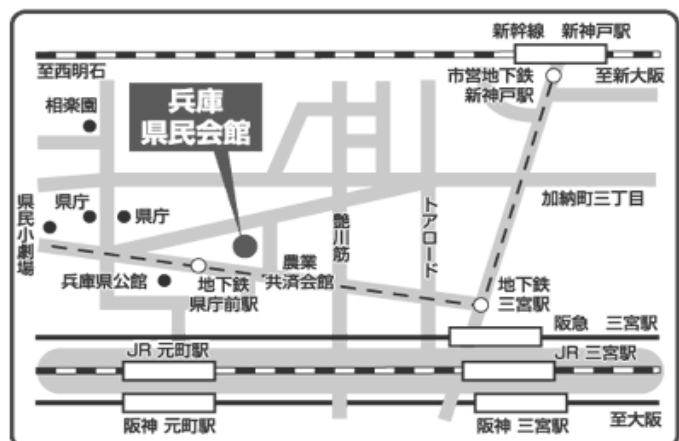
神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1

国際健康開発センター 3階

(社)瀬戸内海環境保全協会内

TEL 078-241-7720 FAX 078-241-7730

Eメール：web@seto.or.jp



プログラム、参加申込書は裏面にあります。

JR・阪神「元町」より徒歩7分

地下鉄「県庁前」東1・2出入口/バス停「県民会館前」下車すぐ

プログラム

趣旨説明 柳 哲雄 (瀬戸内海研究会議企画委員長・九州大学教授) 11:00 ~ 11:10

個別発表 11:10 ~ 14:40

(1)大阪湾における栄養塩環境の人為改変とそれに対する植物プランクトン群集の応答

- 実測データと堆積物コア解析に基づく大阪湾環境変遷史の作成 - (H19)

山口一岩 (現:岡山理科大学工学部)

(旧:愛媛大学沿岸環境科学研究センター)

(2)養殖ノリの安定同位体比を用いた瀬戸内海の窒素循環に関する研究(H19)

小林志保 (京都大学大学院農学研究科)

----- 昼 食 (12:00 ~ 13:00) -----

(3)干潟環境の保全・創造の指標としての絶滅危惧種アオギスの生息状況ならびに生息

環境に関する研究 (H18)

重田利拓 ((独)水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所)

(4)瀬戸内海沿岸生態系における基礎生産構造の再検討(H17)

福森香代子 (現:京大大学生態学研究センター)

(旧:愛媛大学沿岸環境科学研究センター)

(5)大阪湾における有毒渦鞭毛藻 *Alexandrium* 属シストの動態に関する研究(H20)

山本圭吾 (大阪府環境農林水産総合研究所水産技術センター)

白石智孝 今井一郎

(6)瀬戸内海の代表的な植物プランクトン *Skeletonema* 属の種多様性と季節的消長(H20)

香月絵里 (現:産業技術総合研究所九州センター)

(旧:福岡女子大学大学院生)

総合討論

14:40 ~ 15:10

「今後瀬戸内海でどのような研究が必要か？」

司会：柳 哲雄 (瀬戸内海研究会議企画委員長・九州大学教授)

瀬戸内海研究会議ワークショップ

参加申込書

日時:平成21年11月13日(金)

場所:兵庫県民会館 福の間

所 属 _____

フリガナ
氏 名 _____

<連絡先>

〒 _____

住 所 _____

T E L _____

F A X _____

ご提出頂いた個人情報は本事業の目的以外には利用しません。